令和7年1月20日

木更津総合高等学校
校長　真板竜太郎殿

人材開発課
清田　英二郎

令和6年度学校評価
人材開発課総括

	点検・評価項目	自己評価 優→3 可→2 不可→1	自己点検・自己評価項目総括
初任者研修業務	①新任教員の木更津総合高校での教育活動が円滑に進むよう、多くの先生方のご経験、お力をお借りしながら、講話・ディスカッション・研修を企画・実施してゆく。	2	年度当初より年間研修計画に基づいた研修を実施した。一部未実施の研修もあり、「ファインドアクティブラーナー」を利用した動画研修も冬休みのみになってしまうなど計画が不徹底な部分もあったが、研修計画の流れを作ることが出来たので、来年以降の計画立案に反省を活かし、より計画性の高い研修を実施していく。
	②新任教員が教員としてのキャリア形成を本校で継続的に進めてゆけるよう、折に触れて相談相手・支援者の役割を果たす。	2	初任者研修の時だけでなく、相談の窓口として人材開発課の先生方はその支援をおこなえた。しかし、今年度は課の所属教員が4人と少なく、特進ハウスには人材開発課の教員がいない状態であったので、普段の状況やハウス内での様子などを把握できない部分も多かった。今後は教科主任や初任者の担当教員との連携を深めて、よりサポートを充実させたい。
	③ 新任教員以外の先生方にも多くの学びの機会・情報を提供してゆく。	2	今年度の外部研修テーマが「ハラスメント」ということもあり、初任者や若手だけでなく、全体での研修を実施した。日々担任や分掌、部活などの業務に追われ、自己研鑽に時間を割くことが出来ない先生方も多く、放課後の遅い時間での研修であったにも関らず、大半が研修に肯定的な感想であった。定期的にこのような場を設けてほしいという意見もあったので、実施時期やテーマなどを検討し、より有効な研修を企画したい。なお、今回は感想の提出に「ファインドアクティブラーナー」を利用した。これをきっかけに動画を利
	④ 人材開発課教員自身が、それぞれの持ち場で全力を尽くす。	3	人材開発課所属の各教員は、初任者や若手教員に対し、それぞれの特性に基づいたサポートを行うことが出来ていた。また、他の各分掌との兼務となっているにも関わらず、担任業務・部活動指導業務・担当授業に対しても真摯に取り組み、新任教員に対して率先垂範を実行するべく努力している。